

# Emergency Watch

## NO. 39



### 神戸こども初期急病センター



2014年2月受診者数：2840人

#### 訴え

- 1. 発熱 : 2201人 ( 1967人)
- 2. 咳 : 1256人 ( 147人)
- 3. 鼻汁 : 870人 ( 10人)
- 4. 嘔吐 : 458人 ( 183人)
- 5. 頭痛 : 375人 ( 22人)

(カッコ内は、その症状を主な訴えとして来院した患者数)

#### 疾患頻度

- 1. インフルエンザ : 1065人
- 2. 急性上気道炎・咽頭炎 : 815人
- 3. 感染性胃腸炎 : 319人
- 4. 気管支喘息・喘息性気管支炎 : 95人
- 5. 気管支炎・肺炎 : 91人

### ☆☆今月のワンポイント☆☆

3月になりましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか？まだまだ寒い日が続いていますが、そろそろ花粉も気になる季節です。このような季節の変わり目は体調を崩しやすいので、みなさまどうぞ十分にご注意ください。

神戸こども初期急病センターの2月の総受診者数は2,840人でした。そんな中受診された理由として、最も多かったのはやはり発熱で、1,967人の方が発熱を訴えて当センターを受診されました。このうちインフルエンザの迅速検査は1,527人に対して行われ、A型が405人、B型が420人とほぼ同数の結果でした。3月に入ってもまだまだインフルエンザの方がたくさん受診されていますので、手洗いやうがいなどで予防するように心がけてください。

また、2月は気管支喘息のため受診された方が95人いらっしゃいました。季節の変わり目は発作が出やすいので、今後受診者数が増加することが予想されます。気管支喘息発作を予防するには、風邪をひかないようにすること、部屋の空気が乾燥しないようにすること、ダニやほこりなどに注意すること、大人が周りでタバコを吸わないようにすることなどが重要です。発作が多い方は、抗アレルギー剤を発作が起こる前から続けて飲んでおくことも有効です。また、ステロイドホルモン剤などの吸入を定期的に行うこともあります。かかりつけの先生とよく相談しておくとういでしょう。

国立感染症研究所からの情報によると、最近麻疹の感染者が増えているそうです。麻疹は予防接種で予防できる病気ですが、年齢とともにワクチンの効果が薄れ、成人期になって罹患することがあります。麻疹は生命に重篤な結果をもたらすこともありますので十分にご注意ください。最近ではワクチンも2回接種となっています。「1歳になったら早めにワクチン接種」「2回目も確実に接種する」ことにご留意ください。

